

おもしろい花を見つけたよ

萩小・2 伊藤 あかり

わたしがさいきんわくわくしたリュウゼツランのお話です。六月七日にお父さんとお母さんがさんぽから帰ってくると、

「近くのうつのさんの家のにわにある五十年に一どしか見られない花につぼみができたんだって。」

と話してくれました。そんな花を見たことないし、聞いたこともないから見たいなと思いました。さっそくうつのさんの家に行きました。

「さくらの木みたいに小さな花がたくさんあるのかなあ。」
とわくわくしました。

「マリオのバックンフラワーかも。」

とお兄ちゃんが言いました。たしかににっていました。

うつのさんの家の近くまで行くと、やねよりもたかくてすぐにわかりました。思っていたよりも大きくて、ふしぎな形をしていたのでびっくりしました。はっぱが下の方によきによき生えていました。アロエみたい。口をいちばん大きく開けた時くらい太くて、ちくちくした大きなとげがたくさんありました。ヤマタノオロチみたいで、上にのびたり下におりたり、今にも顔がとび出てきそうです。しこわかったです。まっすぐにのびたくきは、太くて長くててっぺんには、つぼみがあつて、アスパラみたいな形でした。つぼみのよすを見ただけの高すぎて、よく見たかっただけの高すぎてよく見えなかつたです。リュウゼツランは、りゅうの下べろみたい

な花だそうです。

次の日、思わぬじたいがおこりました。何とリュウゼツランがたおれてしまったのです。あわてて見に行きました。すると、ねっこから地めんにはバタンとたおれていました。

「もう花はさかないのかな。」

とつぶやいてしまいました。かなしかつたです。みんなでおこそうとしましたが、おもすぎてびくともしませんでした。先っぽにあつた大きなつぼみは、たおれてしまったので、近くにうえ直しました。リュウゼツランは、こうじの人にたのんでクレーンでもち上げて、もう一どうえてもらいました。

「まださくかもしれないよ。」

と聞いてうれしかつたです。それから一しゅう間に一回、うつのさんの家にあそびに行くことにしました。二しゅう間すると、くきの中にまた新しいめがでてきました。

「わーすごーい。」

と、みんなでよろこびました。それからまた一しゅう間すると、くきがよこにも出て、ばんざいしているみたいでした。

七月になると、ばんざいの先っぽに大きなつぼみが、たくさんできはじめました。バナナみたいでおいしそう。こんなつぼみをはじめて見ました。

「一どたおれちゃつたのに、ふっかつするなんてすごーいね。」

と、お母さんと話しました。とうもろこしやひまわりは、一どたおれると、もうそだたないのになあと思いました。

それから一しゅう間すると、花がさいたと知って、みんなで見に行きました。花びらは、ほそ長くひらひらとイソギンチャクのように

に上に向かって書いていました。

「わたしがおよめに来た時に、おいわいでうえたんだよ。」
と、教えてくれました。五十年ずっと同じ場しよで生えつづけるな
んてすごいなと思いました。

わたしは、一年生の時、さか上がりができなくてほうかになると
チャイムがなるまでれんしゅうしました。できる日もあれば、でき
ない日もあってくやしかったです。でも、たくさんれんしゅうをつ
づけたので、今ではとくいになりました。わたしもリュウゼツラン
みたいにおれたり、むずかしいなと思ってでもチャレンジしている
いるなことができるようになりたいです。